

救援と侍る信仰

旧約は律法を如何に守るかという事が信仰になります。守らなければならない強制の信仰、怖い信仰であったわけです。新約は如何に信じるかという信仰です。イエス様のみ言を如何に信じるかです。それでは成約の信仰は如何によく侍るかという事です。しかしその侍るという事がよくわかっていません。

救援摂理とは再臨のメシヤ真の父母様を迎えるということです。簡単なことですがとても意味深いことなのです。キリスト教はメシヤを迎えるために2000年待ち続けました。そのために命までかけてきたことを私たちはどのように思っているのでしょうか？その信仰を守るとはどれほど難しかったのでしょうか？私たちは再臨のメシヤを迎えて信仰生活を行っていることに対して、もう一度考えなければなりません。すべての歴史は真の父母様を迎えることにありました。しかし人間的に考えることがたくさんあります。このひと時を迎えるための人類歴史であったことをもうひとたび考えなければなりません。栄光と同時に蕩滅もあるため真の父母様に正しく侍らなければなりません。本質を正しく理解することです。すべての活動を一生懸命行っていますが、ギャップを感じざるを得ません。私たちは真の父母様に侍るために行っているのです。

60年代の父母様は大先生とお呼びしていました。宿泊も教会の一室を借りて行っておりました。2014年の父母様はそうではありません。私たちの侍る信仰も真の父母様に合わせていかなければならないのです。以前乞食のような恰好をされている父母様を家にお迎えした先生の証しですが、一生変わらずに父母様に侍ってきました。父母様が時間がなくて私の代わりに3歳の子供が行っても侍ってくれるかと聞きましたが、父母様のように侍ると答えられました。布団にウンチをしてもどうかと尋ねられましたがそれでも侍るとおっしゃいました。私たちは侍ると口では言っていますが、私を含めて誰も実践しておりません。父母様が家にこられたら2,3日は侍ると思います。1週間も過ぎると侍るのが大変なので心に別の思いがわいてくるはず。訓読が始まれば終わりがありません。侍ることはとても大変です。実際のところ親が子供に侍っています。一生侍るのです。私たちの信仰、それは侍る信仰です。親が子供に侍る、そのような信仰にならなければならないのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、聖和 2 周年特別精誠期間

TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。

1次:天曆2月3日(陽曆3月3日)~天曆4月2日(陽曆4月30日)

2次:天曆4月3日(陽曆5月1日)~天曆6月4日(陽曆6月30日)

3次:天曆6月5日(陽曆7月1日)~天曆7月16日(陽曆8月11日)

3、真のお父様聖和二周年 93 日伝道路程

◆条件:「原理講論」または「天聖經」完読

◆目標:一家庭祝福伝道

◆期間:2014年5月12日~8月12日(陽曆)

4、東埼玉教区 壮年部 1DAY

日時:6月8日(日)10:00~

場所:WATSUコミュニティセンター

5、伝道主体者集会

日時:6月10日(火)10:30~

場所:大宮教会

参加対象:CIGを始め、スタッフ及び食口の皆様

6、嫁さん弁当の日です

日時:6月11日(水)

7、自叙伝書写大会

日時:6月11日(水)10:30~

場所:浦和教会

8、代々木聖地祈祷会(浦和教会担当)

日時:6月12日(木) 5:00~

9、健康講演会

日時:6月13日(金)10:30~

場所:浦和教会

10、東埼玉成和学生大会

日時:6月14日(土)13:30~18:30

場所:鷺宮西コミュニティーセンター

11、VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

第14回:2014年 6月19日(木) ~ 6月24日(火)

第15回:2014年 7月17日(木) ~ 7月22日(火)

第16回:2014年 8月12日(火) ~ 8月17日(日)

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長:李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長

司会者：赤岩弘一伝道部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 26番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	澤口真理
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	理想的な教会	
※讃 頌 聖歌 18番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

皆さんは社会に忠誠を尽くさなければならないし、教会に忠誠を尽くさなければならないし、家庭に忠誠を尽くさなければなりません。それならば教会は何をすればいいところなのですか？人格を形成し、人格を育てる所です。堕落したので教会が必要なのです。家庭と社会がすべてではありません。大学を出て何かの博士学位を受けたからといって、それで人格が復帰されるわけではありません。それで教会が必要だということです。

先生を中心にして、新しい父母の因縁を求め、新しい子供になって、家庭から新しく收拾していきながら、新しい世界に向かっていかなければならないのです。その足場になるのは何ですか？教会です。教会を足場にせずには行けないのです。新しい家庭も教会を通して出てくるのであり、新しい社会も教会を通して出てくるのです。分かりますか？

では、どこに忠誠を尽くさなければならないのですか？家庭に忠誠を尽くす前に教会に忠誠を尽くさなければなりません。社会に忠誠を尽くさなければなりません。教会が主体で、家庭と社会は対象です。知恵ある人はどこに立つのですか？対象の位置に立つのではなく、主体の位置に立つのです。主体の位置は一つしかありません。分かりますか？

～牧会者の道 第六節 牧会者と教会生活 教会と教会生活～

統一運動

第52回「真の万物の日」敬礼式を挙行

天暦5月1日(陽暦5月29日)午前8時から、東京・渋谷の教会本部礼拝堂において、第52回「真の万物の日」敬礼式が行われ、多くの教会員が集まりました。矢野治佳・総務局長の司会で始まった式典は、徳野英治・日本統一教会会長のローソクの点火、敬拝、年頭標語・家庭盟誓の唱和の後、周藤健・日本統一教会副会長が代表報告祈禱をしました。

ケーキカットの後、韓鶴子総裁が韓国統一教会創立60周年記念式(5月1日)の際に語られたみ言が訓読されました。続いて、徳野会長が記念説教を行いました。徳野会長は冒頭で、1963年に「万物の日」が制定された経緯を紹介。そのうえで、「真の父母と真の子女が一体となって万物に対する所有を決定し、これを宣布したのが万物の日です。真の家庭が確立されることによって、万物は(人間始祖の)堕落によって失った真の主人を取り戻しました」と述べました。

また、徳野会長は、「再臨主の問題は、統一教会だけがはっきりと分かっています。統一教会と他の宗教団体との最大の違いは、統一教会には『メシヤ』『真の父母』がおられることです。真の父母によって、原罪清算の恩恵を受けることができる祝福の門が開かれました」と強調。「人類の真の父母は、宗教、人種、国家、文化などの垣根を超える方です」と語りました。敬礼式は、堀正一・南東京教区長の億万歳四唱で終了しました。

